

# ソフト・サービスによる環境貢献

## 「ITは地球環境に貢献できる」...

## そんな思いで、富士通グループはさまざまなビジョンを形にしています。

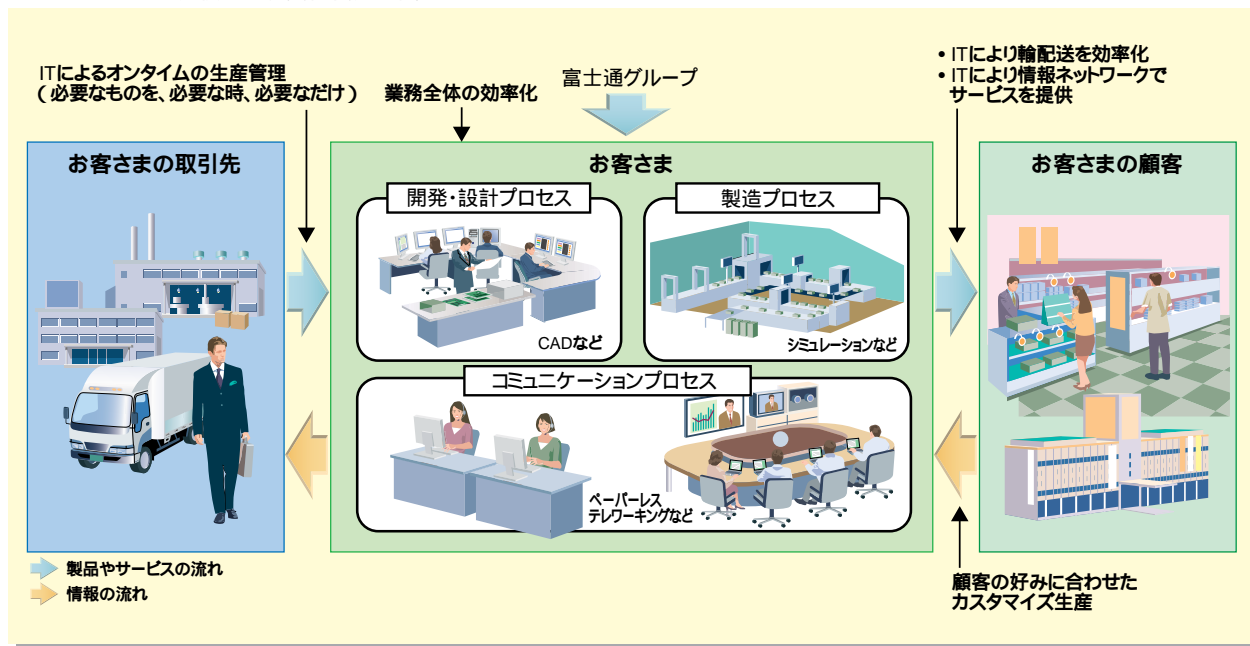
IT(情報技術)は、人・物資の移動や生産活動などの効率化をとおして、社会全体の環境負荷を低減する大きな効果を発揮します。富士通グループは、自らの事業活動や製品の環境対応に努めるだけでなく、ITを駆使したソフト・サービス(ITソリューション)の提供により、お客さまの業務効率化などとおした資源、エネルギー消費の低減に貢献しています。ITで地球環境に貢献する - 私たちのビジョンは、すでに豊かな実を結び始めています。

### ソフト・サービスの提供と環境負荷低減の関わり

お客さまへのソフト・サービスの提供による環境貢献として、生産や輸配送の効率化による資源、エネルギー消費の抑

制をはじめ、さまざまな効果が考えられます。これらの関わりについて、次の図にまとめました。

ソフト・サービスの提供と環境負荷低減の関わり



### ソフト・サービスアセスメントの導入

環境に配慮したソフト・サービスを提供するため、富士通グループでは2001年度よりソフト・サービスアセスメントを導入しトライアルを開始しました。このアセスメントは、お客さまに提供するソフト・サービスの、ライフサイクルをとおした環境効果を定量的に算出するものです。

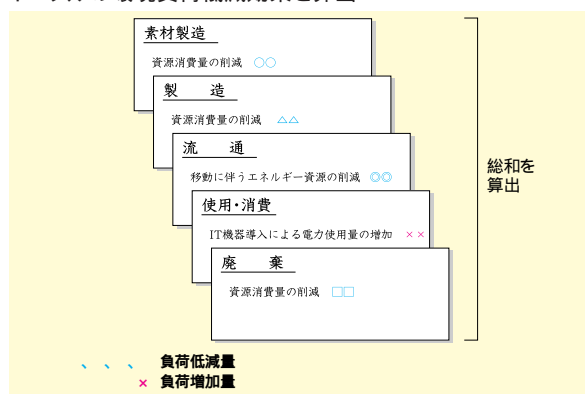
#### アセスメントの概要

- (1) 環境負荷低減効果の項目の洗い出し(資源消費量の削減、移動に伴うエネルギー資源の削減など)
- (2) (1)の効果が現れるライフサイクルの各段階(素材製造/製造/流通/使用・消費/廃棄)ごとに、負荷が増減する要素をそれぞれ算出
- (3) 複数の段階で効果がある場合は、その総和を算出。

\* 2001年度は算出指標としてCO<sub>2</sub>を使用しています。

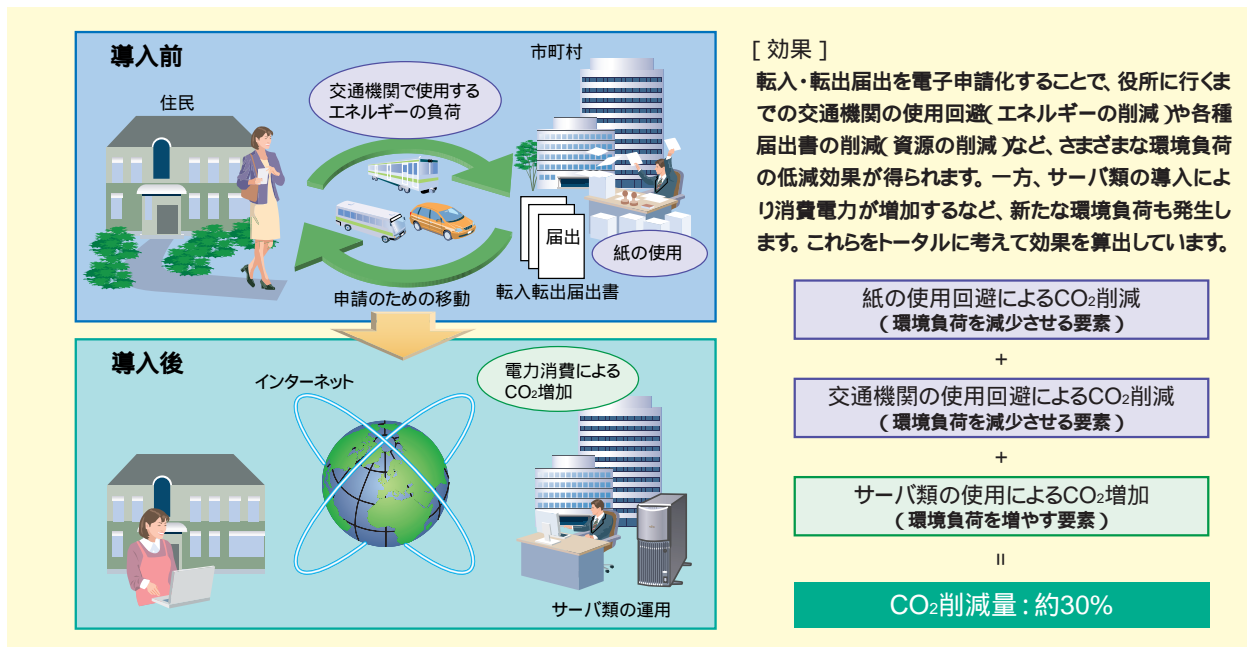
今後は、この手法を活用し、お客さまの資源、エネルギー効率をより高めるソフト・サービスの提供に努めてまいります。

トータルの環境負荷低減効果を算出



## ソフト・サービスアセスメントの評価事例

引っ越し時における転入・転出届出の申請手続きを電子化した場合の環境効果(富士通試算)



### netCommunity (電子行政モデルルーム)

ITの活用による環境負荷の低減事例について、「netCommunity」でより具体的にご紹介しています。「netCommunity」は、国が推進するe-Japan構想\*1により実現する電子社会を具体的に実体験していただくためのモデルルーム。ITを活用した電子申請や電子入札などの行政ソリューションにより、社会全体の環境負荷がどれだけ低減するのかわかりやすいデモンストレーション形式でお伝えします。なお、「netCommunity」のご利用や詳細については、下記URLをご覧ください。

[salesgroup.fujitsu.com/kokyo/densi/modelroom/](http://salesgroup.fujitsu.com/kokyo/densi/modelroom/)

netCommunity

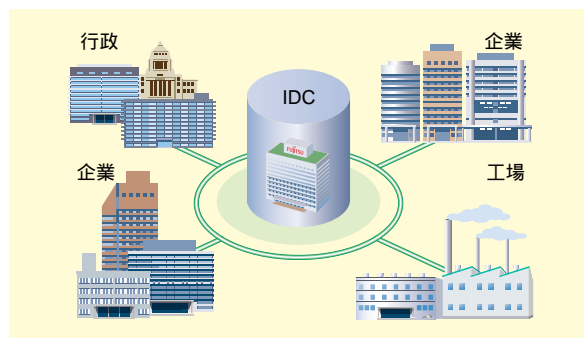


電子行政モデルルーム

### IDC(インターネットデータセンター)による省資源、省エネルギー支援

お客さまが自ら構築する情報システムは、サーバや空調などかなりの設備資源および電力消費が伴います。富士通では、IDC\*を活用したアウトソーシングサービスにより、サーバや空調、電源設備などを共有化することで、お客さまの省資源、省エネルギーに貢献しています。今後IDCでは、最新のセキュリティや安全設備対策だけでなく、運用面での資源・エネルギー消費の効率化を追求し、お客さまにさらなるご支援を提供していきます。

\* IDC:富士通が運用するサーバやネットワークおよびサービスを支えるインフラとして、インターネットに必要な「ネットワーク環境」設備環境「運用環境」を高いレベルで保証するデータセンター



[fenics.fujitsu.com/idc/](http://fenics.fujitsu.com/idc/)

● 富士通環境行動計画にソフト・サービスに関する目標を設定します。

● 環境に配慮したソフト・サービスを認定する社内制度を設けます。

\*1の用語説明については52ページをご覧ください。